

業務名称：JICA国際協力エッセイコンテスト運営管理業務（2022-2025年度）

（公告/公示日：2021年10月8日／調達管理番号：21a00804）について、意見招請実施要項に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P.9	(1) ウェブ応募の導入	これまで同様の受付方法（郵送（オフライン））との併用についてのご想定はありますか。（中学はオンライン、高校生はオフライン受付、または国内応募はオフライン、海外応募はオンライン、または区別を設けずに応募者フレンドリーで受付、とするか等）	現状と同様の紙媒体による受付方法と新たに導入するウェブ応募の併用を想定しています。どのようにウェブ応募を導入するか具体的なことは、受注者の知見・経験、創意工夫のあるご提案を踏まえ、検討します。
2	P.9	(1) ウェブ応募の導入	導入の場合、初年度（22年度）でのこの到達程度はどの程度でしょうか。（エッセイ作品はMSWORDで入力されたもののみとするか、またはエッセイ作品はスキャンデータでも受け付けられるようにするか） *スキャンデータを受け付けられようなフォーマットにするのであれば、その分、受付システムの構築費は高くなるだろうと思います。	ウェブ応募の到達数は具体的な目標は設定していませんが、段階的に導入していくことが望ましいと考えています。受注者の知見・経験を踏まえ、現実的な形でのウェブ応募の導入を考えています。
3	P.10	(4) 募集要項一式 中ポツ2つ目	「性別」項目には、20年度応募書類では「無回答」を新たに加えたが、これは今後も引き継ぎますか。その場合、男女別の作品数、の記載欄に作品数を記載できないということもあり得るのではないかと思います。	性別については、「男」「女」「無回答」の3通りを設ける想定でいます。
4	P.13、他	(3) 応募作品の発送、他	セキュリティ便のような手段の導入は考えたほうが良いのではないかと思います。22年度以降は、エッセイ作品の受発送のやり取りではセキュリティ便の利用を前提にはいかがでしょうか。	作品の発送は応募作品の紛失のリスクを伴うものであり、個人情報保護の観点も勘案のうえ、送達を確認できる方法を想定しています。
5	P.43	(1) ア. 業務の対価（報酬）	これまで、人件費の他に、募集広報資料作成及び発送、作品受付・発送、一次及び二次審査日華の謝金及び事務等経費、受賞者対象の発送費、表彰式関連費用、優秀作品の作成及び発送費、その他（溶解など）、が業務の対価に含まれていましたが、これら費目は今後も業務の対価に含まれるのでしょうか。	今回の経費に関する費目構成は、業務人件費、直接経費、一般管理費とし、これまでの直接経費、業務の対価、一般管理費という分け方からは修正しています。直接経費については、「競争対象外の定額計上」、「競争対象の積算」に分けており、後者がこれまでの業務の対価にあたる内容になります。どの項目を定額計上・競争対象にしているかの詳細については、入札公告の際に入札金額内訳書を付し詳細を記載予定ですのでご確認をお願いします。
6	P.43	(1) イ. 定額で見積もる直接経費、(3) 定額で見積もる直接経費	現在の契約金額内訳書では、またはこれまでの仕様書を見ても、直接経費は、1. 募集広報関連経費、2. 学校データ・最終選考関係経費、3. 表彰式関連経費、4. 海外研修関連経費、5. 副賞作成、包装費、の5つの費目でしたが今回は、1・募集広報～10. 受賞者の海外研修まで10の費目が入っています。10. の費目のうち、一次審査、二次審査、最終審査に係る諸費用、優秀作品集の製作費などは、業務の対価、に含まれるものですが、今回は変わったのでしょうか。	回答No.5のとおりです。
7	P.7	年間スケジュール	準備期間として初年度の受託業者として短期間過ぎる。4月：年間業務計画の確認他を⇒3月に前倒しできないか	意見招請実施要項P.25「14.業務の引継ぎ」のとおり、先行業者からの引継ぎを2022年3月に予定しています。
8	P.7	年間スケジュール	応募件数の処理数として短期間で、ミス、トラブルが起りやすい。9月：応募締め切り、第一次審査開始⇒第一次審査開始は10月にずらすことはできないか	第一次審査に要する期間を確保する必要があることから、現状では過去の実績を踏まえた年間スケジュールとしています。記載の年間スケジュールを参考に、一次審査に要する期間も含め全体として無理のないスケジュールをご検討ください。
9	P.9	(2) JICA 地球ひろばホームページに掲載する募集情報の作成	JICA地球広場のホームページの応募情報は中高生の応募を促すうえでは限界があるので、別途、学校現場に活用され、中高生が国際理解・国際開発について学びながらエッセイ執筆をするための特設サイトを構築してはどうか。なお、コンテスト運営とは別途の運営実績と専門性を要する必要があることから、本業務は再委託も可としてほしい	実施要項第1章のⅢ. の2. 創意工夫の発揮可能性において改善提案に関する記載がありますとおり、積極的な改善提案をお願いします。
10	P.21	受賞者の海外研修	コンテスト運営とは別途の運営実績と専門性を要する必要があることから、本業務は再委託も可としてほしい	受賞者の海外研修は事前研修を含め、エッセイコンテストと一体的に実施することにより教育的な効果を狙っています。一方で、海外研修の業務についての発注者、受注者及び旅行会社の役割分担は実施要項の別紙8のとおりであり、研修先国の決定、JICA活動現場視察等の主要な訪問先の調整は発注者が担当し、また、海外渡航関係の専門性が求められる航空券の手配、現地ガイドの手配、現地移動手段の手配等の業務は旅行会社を通じて手配することが可能です。
11	P.87	業務従事者経歴書	個人の資格取得、著作・研究論文等、採用年月、研修実績等は運営および評価配点に当たり必要性がない。削除することはできないか	業務総括者の評価については、業務従事者経歴書等（様式2）に記載していただく内容を参考に、評価表（評価項目一覧表）に記載のとおり評価します。ご照会の内容は評価に必要な内容となりますので、業務従事者経歴書等に記載いただきますようお願いいたします。
12	P.95	応募用紙（学校）	応募用紙にメールアドレス記載の項目を作成してほしい。⇒今後のWEBサイトに会員登録誘導、次年度以降、メルマガ配信し、応募件数、応募学校を増やすことができる	ご指摘いただいた点は検討しますので、技術提案書にて改善提案をお願いします。